

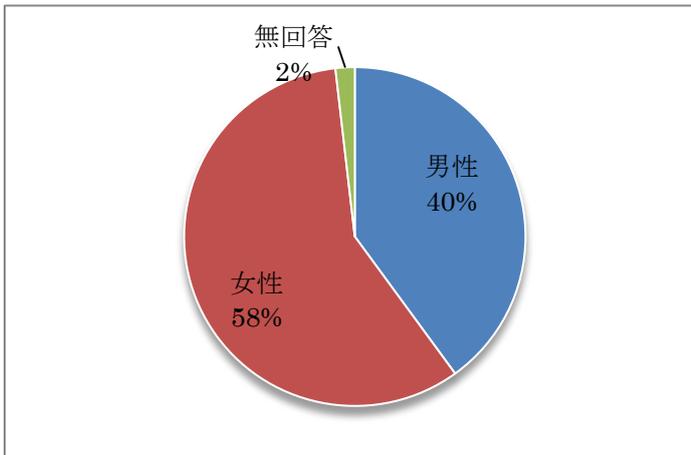
# JAXA タウンミーティング in 森美術館 開催報告

平成 28 年 11 月 8 日、“宇宙探査の最前線—人々を魅了し続けた宇宙の「今」に迫る—” JAXA タウンミーティング in 森美術館を開催しました。今回は、JAXA が取り組んでいる宇宙探査と宇宙の「今」について話題を提供し、会場の参加者と活発な意見交換がなされました。

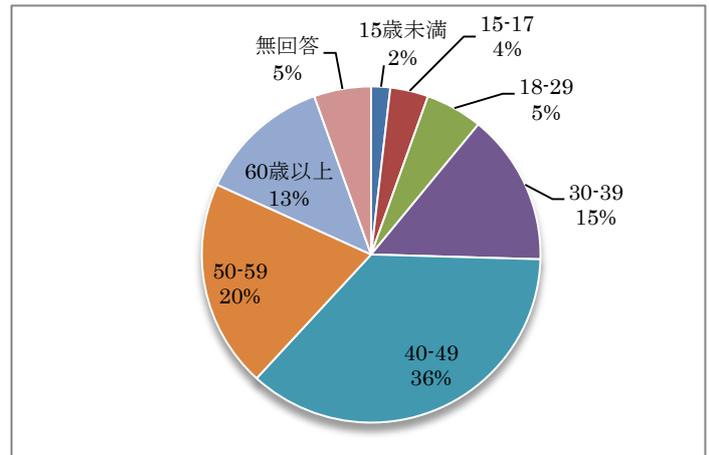
- 開催日時 平成 28 年 11 月 8 日（火） 19:00～20:30
- 会場 森美術館オーデトリウム
- 参加者数 87 人
- 登壇者
  - ・森美術館 アソシエイト・キュレーター 椿 玲子  
話題：「『宇宙と芸術展』について」
  - ・JAXA シニアフェロー  
宇宙科学研究所 宇宙飛翔工学研究系 教授 川口 淳一郎  
話題：「宇宙探査の最前線—人々を魅了し続けた宇宙の「今」に迫る—」
- 進行コーディネーター
  - ・JAXA 広報部長 庄司 義和

## アンケート回答者の属性（有効回答数：55）

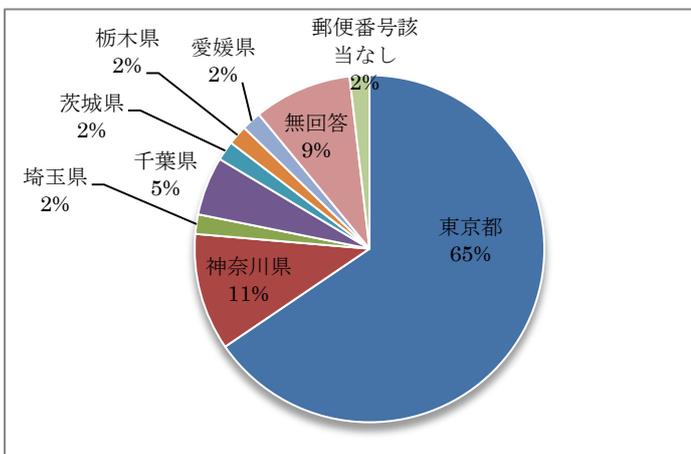
### 1. 性別



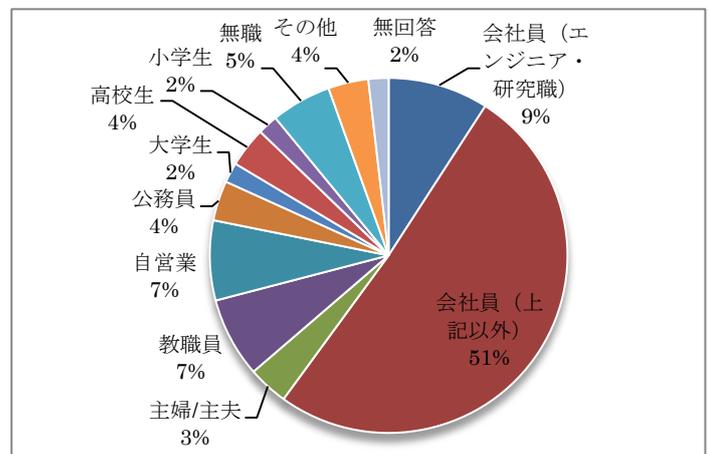
### 2. 年齢



### 3. 居住地



### 4. 職業



## いただいた主なご意見（意見投稿、アンケート記入分も含む）

### ■今回のタウンミーティングの話題に関連して

#### ◇「宇宙と芸術展」について

- ・ 今までもこれからも宇宙は人を魅了し続けるのだろうと思う。物理的な宇宙と精神宇宙の表現のどちらも芸術に結びつき、とても魅力的なテーマだと思います。
- ・ 宇宙は太古から人類の憧れ。未だに果たせない夢の宇宙の展示は何度見ても興味深い。
- ・ 宇宙に限らずテクノロジーは日本の注力すべき分野である。その広報活動を官民が連携して行うことは重要だと感じた。
- ・ 宇宙に関する芸術作品や宗教観などについて JAXA の方々から直接お聞き出来る機会が増えることを期待しています。
- ・ 古来より人は宇宙という存在に魅了され続けていたということ、宇宙を題材とした芸術作品を見たことで改めて理解できたので良かった
- ・ 宇宙はとても観念的なものだから、リアルな実態とは言い難い。人の多様性を感じる。
- ・ 古い宇宙観が素晴らしい。
- ・ 科学と芸術、全く違う分野と思われたが、有機的な繋がりが感じられる。面白い着眼点。
- ・ 一般の人達（宇宙や航空に興味のない）にもアートから入れる楽しさに期待。

#### ◇宇宙探査の最前線—人々を魅了し続けた宇宙の「今」に迫る—

- ・ 子どもたちの学校に行って星空を見る会をしたりとか、探査機の話、探査機の模型を作ったりする会などもどんどんして行って、子どもたちに宇宙のことをアピールしていったらどうでしょう。
- ・ 地球にないから宇宙から持ってくれば良いという発想自体が非常に受け入れがたい。
- ・ 宇宙開発予算が少ないのは、日本国の意思だと思いますが、そこは、気にせず夢を追っていただければと思います。
- ・ 科学リテラシーの教育はとても大事ですね。大人も子どもも。
- ・ JAXA は国立研究開発法人なので、別法人を設立する形で宇宙利用も推進すべき。
- ・ 子供向け教育などの意見が出ていましたが、子供がいない大人は参加できないのが残念です。大人向けのイベントもお願いします。
- ・ 普段聞けなかったことが聞けて、とても興味深かったです。
- ・ どのような研究にも、心のありようが大事だと感じました。
- ・ 常に新しい技術を探ることは、大変だと思います。
- ・ 心と肉体に関して考えさせられました。
- ・ 宇宙探査とは、人が挑戦することの中でも最難関のカテゴリーにあるものだと思う。それに挑むのは、情熱と信念という思いの強さがあるからこそだと思う。しかし、今は難しいことが将来的にも難しいとは限らないというお話で、より一層宇宙開発という事業を途絶えさせてはいけないと感じた。
- ・ ちょっと SF っぽかった。具体的な話がもうすこし、聞きたかった。
- ・ 興味深い話が色々聞けましたが、散発的だったので、もう少しテーマを絞って誘導していただけたら議論になったのではと思います。

- ・ 人類が宇宙に行かなくてはいけないのか。最先端のリスクが高いところに人類がいきなり行く必要はないというお話は「そうだよな」と思われた。
- ・ 今後の宇宙と人間の関係を模索する上でとても inspiring でした。議論をもう少し深められたら、なお良かったです。
- ・ 宇宙は物理的にも、現在は心理的にも距離のある外側の世界だけれど、人間が赴くと非常に人間的な場になると、改めて考えさせられました。
- ・ 宇宙の芸術利用、楽しみです。
- ・ もっと広報活動をした方がよい。
- ・ 開発有りきではなく、スペースデブリの回収や今地球上で生活している生の人間が科学の発達、発展に危惧することなく安心して生活できるようにお願いします。
- ・ 心に着目したストーリーが面白かった
- ・ もっと時間が欲しかったです。
- ・ 宇宙は誰のものかはまだまだ議論が必要であるということ
- ・ 少ない予算を熱意と工夫でカバーし、結果を出す。日本の宇宙技術は素晴らしいと本当に思います。自分なりにできる形で今後も色々と協力していきたいです。
- ・ とても興味深くまた、新しい情報を知ることができ嬉しかった。

## ■タウンミーティング、その他について

- ・ もっと JAXA は日本の宇宙開発が注目されているということに対して自覚的になるべき。
- ・ 何を意見するのか困惑した。焦点をはっきりさせ、議論できるようにしてほしい。
- ・ また参加したいです。
- ・ テーマをもっと絞ったら意見を交わしあえるのではと思います。JAXA がこういう機会や広報をととても重視していることが分かったので、私ももっとこれから触れていきたいです。
- ・ 小規模でも、今回のような企画をたくさん設けていただけると。
- ・ 展覧会もトーク、意見交換も非常に興味深く、勉強になりました。が、テーマが拡散し過ぎて(エントロピーは広がるものですが)、出発点も方向性もよくわからない部分がありました。双方向性を心がけられたのはよく理解でき、公金を使用した場としては良かったと思います。
- ・ もっと時間が長かったら嬉しいです！
- ・ ISS より帰還した飛行士への質問に宇宙食についての質問が多く出ます。そのように注目を集める場なのでメニュー（ラーメン etc）ではなく素材（米、野菜）として日本の農水産業上貢献できるのではと思います。
- ・ 実際は宇宙を解明することにより地球内の経済が国際的に活性化するので JAXA の活動もその枠で捉えればよいのだと思った。
- ・ こんな六本木という都心でやってもらえるとは思わず興奮しました。またお願いします。



撮影：御厨慎一郎